

新生児医療連絡会 2018年第1回総会 議題

[第54回日本周産期・新生児医学会学術集会(於:東京)第2日]

日時:2018年7月9日(月)18:30~20:30

場所:東京国際フォーラム 第1会場

- ・109名の出席。
- ・冒頭で経費節減のため今後も事前にWEBで総会資料を配信するので持参出席をお願いする旨会場に伝えられた。

I. 報告事項

1. 会計報告(福原里恵先生、和田和子先生)

会計報告に加え、災害時連絡網に関する業務分は、今回からくまモン救児募金から事務経費として使用する旨報告され、和田和子先生より監査報告がされた。

2. くまモン救児募金活動報告(和田和子先生)

熊本大学NICUへの人的支援で2018年は7件の派遣が予定されており、現時点では2件報告された。同大学岩井医師より会員に向けて感謝の挨拶があった。

3. 会員状況(2018年7月1日現在)(大木先生)

会員数 474名(うち行方不明 3名)施設数 350施設 2018年1月以降の退会者 9名、入会者 14名であった。

4. その他

楠田先生、田村先生より広報活動があった。

II. 協議事項

1. News Letter「教えてあなたの地域事情」について(福原先生)

福原副事務局長より報告があった。

2. 災害時の新生児医療体制復旧手順ver.3について(大木先生)

原稿が出揃い近日中にPDFの形でフリーアクセスでインターネット公開が可能になる、また刊行物として600部印刷され、全国の新生児医療施設(師長宛て)、関係諸機関・団体、執筆者に配布される他、会員で希望があれば送料のみの負担で配布を予定していることが報告された。出席者より発行部数を増やして有料配布も考えてはどうかとの提案があり、執行部預かりとなった。

3. 「新生児医療連絡会の目的・活動目標」改定(大木先生)

執行部より役員会で承認済みの改定案が提示された。出席者より「新生児科の独立性確立に向けた社会活動」で新生児科の特異性を強調しない方が良いという意見が出され、検討されることとなった。

4. 新役員選出(幹事変更)について(大木先生)

東海地区：大木→杉浦弘医師、関西地区：南→隅清彰医師、中国四国地区：福原→中田裕生医師への変更と、関東地区で内山温医師留任（神奈川異動）と飛弾麻里子医師の新任が承認された。

5. 都道府県代表について（2018年4月～2018年6月）（大木先生）

前東京都代表内山温医師の神奈川移動に伴い、伊藤裕司医師の就任が報告された。

6. 名誉会員・功労会員候補（大木先生）

候補として提案された名誉会員8名功労会員5名が了承された。

7. 新入会（2017年10月13日～2018年4月10日／～7月1日）

29名が紹介され承認された。

8. 連絡会ホームページリニューアル（常時SSL）について（18～9）

HP刷新が承認され役員会で審議した1～3案のうち第2案が選ばれた。

9. 年会費、入退会手続について（大木先生）

従来の前年度分会費徴収から当年度分徴収に変更するため次回 News Letter 送付時に（19/02）、2018・2019の2年分の振込用紙を送付する案が出され承認された。

10. その他

Ⅲ. 総会講演：

「大阪北部地震報告」

市場博幸 先生（大阪市立総合医療センター）

以上